

医療機器安全管理研修会 2014年

(日本語社会人教育プログラム)

事前配布資料



期 間: 2014年11月8日(土)~9日(日)午前

会 場:

東京大学法文1号館25番講堂
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1

主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際予医療リスクマネジメント学会

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

1) 会場受付の開始時間

2014年11月8日(土)午前9時

2014年11月9日(日)午前8時30分

2) テキストおよび領収書は2014年11月8日朝の会場受付でお取りください。

3) 受講修了証は11月9日午前12時以降に受付でお渡しします。

4) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

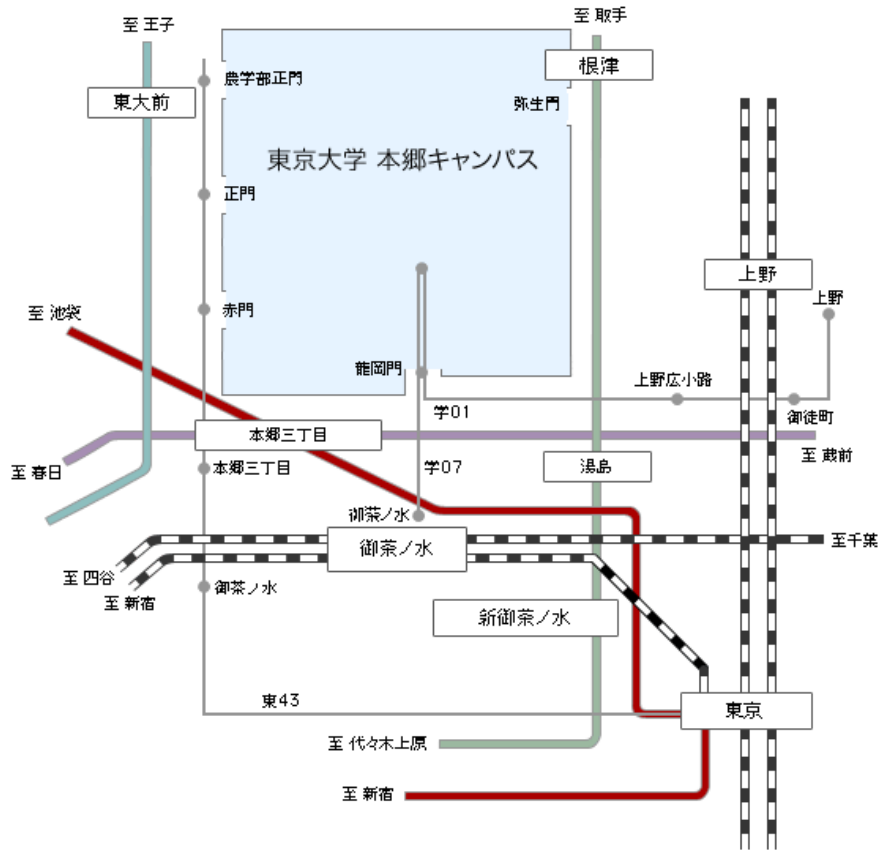
第5次医療法改正(平成19年4月施行)、医療法施行規則および通知「医療機器に係る安全管理のための体制確保に係る運用上の留意について」(平成19年3月30日)により、全国の医療機関における医療機器に係る安全管理のための体制確保が明記されました。

それらにより、全国の医療機関(病院、有床・無床診療所)は医療機器安全管理責任者を配置し、この責任者は病院等において年2回程度の定期研修会を主催し、更に、医療機器を取り扱う従事者に対して病院等以外の場所での医療機器の安全使用に関する研修の受講など行わせることが義務化されました。

本セミナーは、全国の医療機関(病院、有床・無床診療所)における医療機器安全管理責任者を含む医療機器取扱い従事者を対象として、特定機能病院で必須とされる医療機器の安全管理対策を含み、かつ日本を代表する講師による各界の話題を提供するものです。

受講対象者: 学会員、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、臨床工学技士、助産師、看護師、
歯科衛生技師、診療放射線技師、臨床検査技師、医療機器製造・輸入・販売業者、その他

交通案内



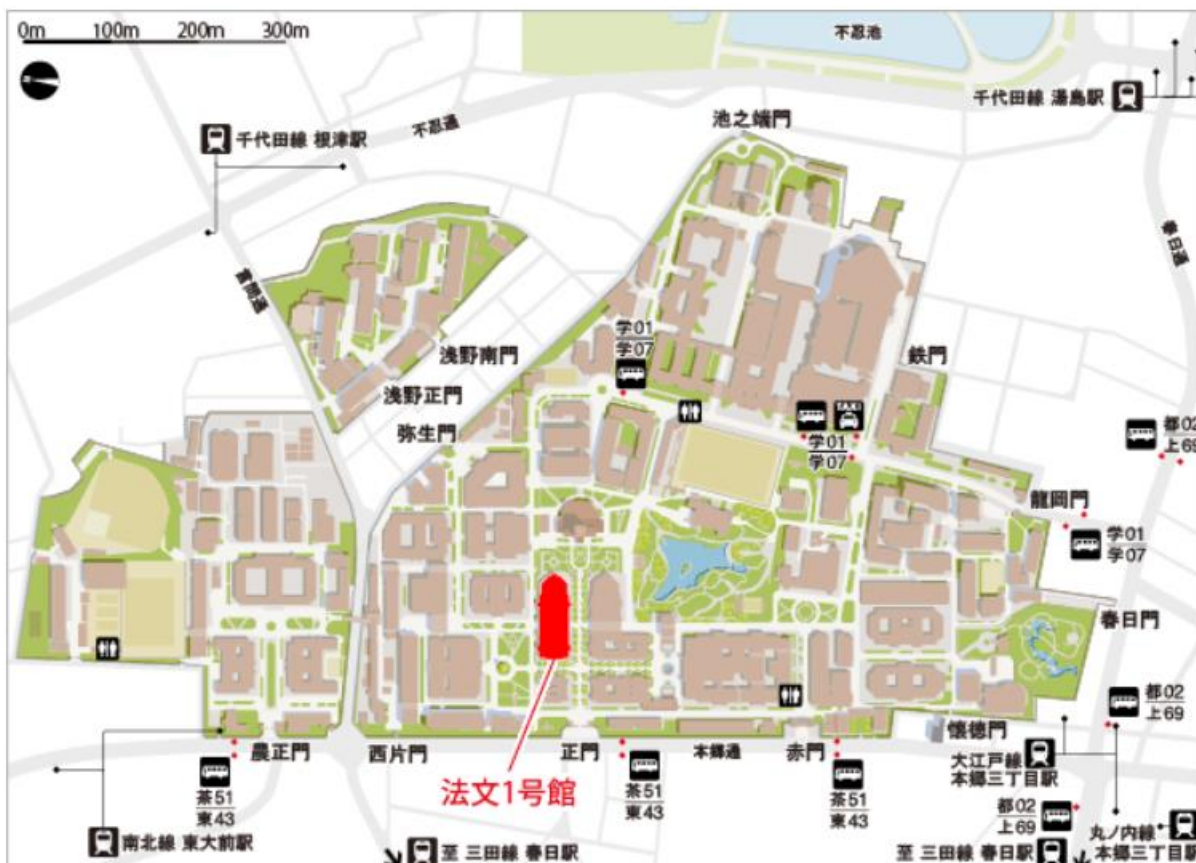
最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10分

御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2111(代表)

東京大学法文1号館25番講堂



飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門~本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

プログラム

(第1回目) 2014年11月8日(土) 午前10時～午後4時20分

東京大学法文1号館25番教室

『医療機器安全の基本』

受付開始 午前8時

午前9時 開会

午前9時～午前9時50分 医療機器安全の基本 ― 予防システムと危機管理システム
高倉 照彦 (亀田総合病院臨床工学室)

午前9時50分～午前10時 小休憩

午前10時～午前10時50分 PMDAにおける医療機器安全の最近情報のまとめ
岸 亜由美 (医薬品医療機器総合機構・安全第一部医療機器安全課 調査専門員)

午前10時50分～午前11時 小休憩

午前11時～午前11時50分 医療機器ミスに対する原因の分析方法ならびに対策の立案方法について
- 人間工学の立場から
小松原 明哲 (早稲田大学理工学院教授、日本医療安全学会理事)

午前11時50分～午後1時 昼食

午後1時～午後1時50分 ハイリスク医療における医療機器安全管理 - 新生児・小児医の立場から
高橋 尚人 (東大病院小児科准教授)

午後1時50分～午後2時 小休憩

午後2時～午後4時20分 (パネル) 医療機器安全管理実務の現状と課題
- 医療機器安全管理実務担当の立場から -

管理指針の策定や体制の構築、職員研修の進め方

関口 敦 (埼玉医科大学国際医療センターME サービス部)

閉鎖式保育器、人工呼吸器、人工心肺装置及び補助循環装置、血液浄化装置ならびに除細動装置自動体外式除細動器(AEDを除く)を含む各種の医療機器の安全管理について

草浦 理恵 (自治医科大学附属さいたま医療センター臨床工学部)

保守点検計画の作成方法と実施の進め方

鈴木 健一 (日本医科大学付属病院ME部)

総合討論 20分

午後4時20分 第1日目閉会

(第2回目) 2014年11月9日(日) 午前9時～午前12時

東京大学法文1号館25番教室

『医療機器安全の技術』

午前8時30分 入場開始

午前9時～午前10時20分 **放射線治療における安全管理 - 医学物理士の立場から**

芳賀 昭宏 (東大病院放射線安全管理部)

(概要) 診療用高エネルギー放射線発生装置(直線加速器等)、診療用放射線照射装置(ガンマナイフ等)などの放射線診療での事故予防と機器安全管理の在り方を講義する。

午前10時20分～午前10時30分 小休憩

午前10時30分～午前12時 **医療機器安全のための臨床コーチングの基本**

出江 紳一 (東北大学大学院医学研究科肢体不自由学分野教授、同医工学研究科科長、日本医療安全学会理事)

午前12時 全体閉会